



(校名の由来額)



(細江利夫会長)

享栄会報

平成28年1月吉日
第42号
名古屋市瑞穂区
汐路町1-26
享栄同窓会事務局
052-841-8151

次回総会及び懇親会のご案内

平成28年度

享栄同窓会総会・懇親会を次の通り開催する予定です。

会員誘い合わせて是非ご参加ください。

- 一、日時 平成28年5月21日(土)
- 二、時間 午後5時～午後8時
- 三、場所 ローズコートホテル
- 四、会費 三、〇〇〇円
- 五、議題
 - 一. 平成27年度事業報告
 - 二. 平成27年度収支決算報告
 - 三. 平成28年度事業計画(案)
 - 四. 平成28年度収支予算(案)
 - 五. その他

追記

- ① 準備の都合もありますので、出席される方は平成28年4月末日までに事務局へご連絡ください。
- ② 本会報ご入用の方は事務局までご連絡ください。即日送ります。





甲子園の応援

享栄同窓会会長

細江 利夫

(昭和40年卒)

五月十六日のローズコートホテルでの平成二十七年年度享栄同窓会、懇親会には百二十名の参加を賜わり、盛大に開催させていただきました。

又平成二十四年度卒業以後の会員様に多数、参加をいただき誠にありがとうございました。私共役員一同、総会の成功を願いつつ、多くの同窓生が参加していただける総会を目指し、運営企画をさせていただきます。次年度も同窓生皆様の参加を願っております。

さて今年の甲子園は東海大模高校が優勝して幕をおろしました。私が在学中の昭和三十八年春の選抜高校野球大会に享栄商業高等学校で出場をいたしました。私は吹奏楽部に所属していたので、甲子園には応援団と一緒についていただきました。甲子園球場の壮さに驚嘆した事を今でも覚えております。二回戦はくじ引きで不戦勝、二回戦は秋田の大曲高校に勝利、三回戦は北海高校との対戦でしたが、惜しくも負けてしまいました。

た。私達応援団として甲子園球場での応援活動をさせていたいただいた事は、私の人生の中でたいへん良い糧になったと思っております。現在の野球部は柴垣監督になつておられます。監督には「愛知享栄ここにあり」との思いで、選手を育てられ活躍される事を同窓会として、願っております。ボクシング部や他のクラブも日々の練習に精進されて、良い成績を上げられます事を期待しております。次年度の総会は平成

二十八年五月二十二日(土)午後五時よりローズコートホテルにて開催させていただきます。多くの同窓生の参加を願ってやみません。皆様の今後のご活躍とご健勝を祈念申し上げます。



同窓会のみなさまへ

愛知享栄学園理事長

享栄高等学校校長

長谷川 信孝

同窓会の皆さまには、日頃本校の教育にご理解とご協力いただき誠にありがとうございます。また、五月に行われた総会には、昨年に引き続き多くの会員皆さまが参加され、私ども教職員一同久しぶりにそれぞれの卒業生と昔話ができ楽しい一時を過ごしました。

さて、九月二十九日・三十日に文化祭、十月五日に体育祭を実施したところ、多くの卒業生そして、忙しい中、同窓会長が生徒たちを激励に来校していただき、誠に有難うございました。生

徒たちもきつと喜んだと思います。

部活関係では、この和歌山国体でボクシング部の二年生の石灘君がベスト4、一般の部で本校商業科の教員内山先生が三位という好成績を収めることができました。さらに、硬式野球部が四年ぶりに東海大会への愛知代表として第二位で出場となりました。硬式野球部は、県下私学四強と言われながら、しばらくその結果が出ず低迷しておりましたが、硬式野球部OB会長の後押しもあり柴垣監督が復帰し、足

かけ三年でこのような結果を出すことができました。また、今回の東海大会へは、姉妹校である栄徳高校も中京大中京高校を破り第三位で出場が決まり、愛知享栄学園としてダブル出場となりました。尚、東海大会は十月十七日から岐阜県で行われます。東海大会で好成績を残し、来春の甲子園出場できるよう頑張ります。

最後に、昨年四月学園分離し二校一園の愛知享栄学園として再出発して今年で二年目を迎えました。お蔭様で各校とも先生

方の頑張りもあり、以前より元気な学園となり、それぞれの教育目標に向けて、良い方向に向かっております。

本校の教育の目標は「丁寧な教育」を掲げております。教職員一同力を合わせてやっていく所存であります。同窓会の皆様においても、本校の学校教育にご理解ご協力をお願いいたします。

挑戦

練習生募集

君もチャンスをつかもう!!

畑中ボクシングジム

会長 畑 中 清 詞 (S 60 年卒業)

(第 13 代 W B C 世界 S. パンタム級チャンピオン)

名古屋市北区上飯田西町 2-30-2 TEL (052) 911-2169





教育実習を終えて

杉本 力也

(平成24年卒)(名城大学)

今年六月、母校である享栄高等学校で二週間教育実習生としてお世話になりました。卒業して四年という年月が経っていました。校門をくぐり校長先生はじめ各先生方、教室などを見ると、高校時代の楽しかったことや苦しかったことがつい最近のことであつたかのように二気に蘇りました。

今回の教育実習では高校時代に大変お世話になった硬式野球部の顧問でもある上野先生が指導教諭を引き受けて下さり、クラスも上野先生のクラスである一年四組を担当させていただきました。クラスで自己紹介をさせてもらった時、今まで教わる側の立場

だったのが今は教える立場になっているのだと実感し、気が引き締まったのと同時に不安な気持ちにもなりました。

最初の二週間は、社会科の授業を中心に様々な科目の授業を観察させていただき、また朝、昼、帰りのショートタイムを自分に任せて下さいました。しかし、連絡事項をつするにしても生徒が本当に分かっているのか、理解できているのか不安になり人に何かを伝えるのは難しいことであると改めて実感しました。二週目からは二週目と引き続いて他の先生方の授業観察・ショートタイムに加え教育実習も始まりました。しか

しいざ教壇に立つと自分が説明したいことをうまく説明できなかったり、板書もうまく書けなかったりするなど思うように授業を行う事が出来ませんでした。ですが指導教諭である上野先生以外にも、宮本先生、大島先生、高校時代の担任でもある阿部先生などからたくさんアドバイスをいただくことが出来ました。その結果、授業実習を重ねていくにつれて落ちついて授業を行うことが出来ました。これも各先生方のアドバイスのおかげです。ありがとうございました。また授業を行う際に教師は知識と話術、両方が必要であると気付きました。知識をたくさん持つていても説明がうまくなかったら生徒は理解できず、反対に話術はあっても知識を持つていなければ説明する事自体できないからです。松尾先生がおっしゃっていた教師は知識量が必要であり、役者でなければいけ

ないという意味を身を持って感じることが出来ました。教育実習では、授業の他に土曜日の街美ボランティアの参加や、少などたくさん先生方、生徒と関わることで非常に貴重な経験をさせていただくことが出来ました。

この二週間の教育実習を終え教師という仕事の大変さがよく分かりました。しかし、生徒から挨拶されたとき、話しかけられた時、授業で分かってもらえたときなど楽しさもそれ以上によく分かりました。今までよりも一層教師という職業に就きたいという気持ちになりました。

最後に、上野先生や社会科の先生はじめ享栄高等学校の先生方の素晴らしいご指導のおかげで、この二週間本当に貴重な経験をさせていただくことが出来ました。ありがとうございました。



教育実習を振り返り

上垣 満理奈

(平成24年卒)(金城学院大学)

五月二十五日から三週間教育実習生として母校でお世話になりました。卒業してから四年の月日が経ち、久々に母校に戻った時は、懐かしい気持ちになりました。

今回の教育実習では、大矢先生、近藤真紀子先生、阿部先生のクラスを担当させていただきました。今までは、教わる立場でありましたが、今は教員として、教える立場に立ち、責任のある立場であると実感しました。教育実習

中は、指導教諭の大矢先生、教科指導の近藤真紀子先生が引き受けて下さいました。担当のクラスは、二年五組の大矢先生のクラスを担当させていただくことになりました。毎週水曜日は専門学校で日不在であったので、他のクラスを担当させていただくことになりました。二週目・三週目は、阿部先生のクラスを担当させていただきました。他のクラスに付き、クラスごとに雰囲気の違い、生徒の接し方に

関しては、どうやって接するべきかとても悩みました。しかし生徒たちは、積極的に声を掛けてくれたおかげで、不安な気持ちは和らぎました。生徒との関わり方は、未経験なことであり、戸惑いもありました。

私は現在在学している大学で学部、学科をこえて模擬授業をする機会はありませんが、いざ教壇に立ち授業をするとなると、自分が思っている以上に授業を進めることが出来なかつたり、言いたいことが言えなかつたり、模擬授業とは違う難しさを痛感しました。大学の模擬授業では、時間の授業をする機会はなく、不安がありました。忙しい中大矢先生、近藤先生、兼山先生を始め、商業科の先生方、他教科の先生

方、多くの先生方のご指導のおかげで、なんと一時間の授業をすることが出来ました。しかしながら、知識不足など今後の課題が多くあると思います。

今回の教育実習で教員としての厳しさ、大変さを知ると同時に、社会人としての厳しさ、責任を知るきっかけとなり、今一度、自分自身をみつめ直すきっかけになりました。

お忙しい中、多くの先生方のご指導のおかげがえのないものになりました。享栄高等学校の先生方、生徒の皆さんに心から感謝しております。短い間でしたが、有難うございました。

食を通じて、お客様へ安心と健康をお届けして 50 年。トヨタ自動車(株)様・トヨタ関連企業様をはじめ、数多くのお客様から信頼をいただいております。

企業・学校内食堂の受託運営及び仕出し料理のご用命は

中川給食株式会社

代表取締役社長 岩月宏之(昭和36年卒)

豊田市土橋町5-38 TEL (0565) 28-0948
中川給食のホームページ <http://n-kyushoku.co.jp>

享栄高等学校の近況報告

1. 管理職及び同窓会担当者

| | | | | | | | |
|-------|-------|------|------|------|-------|------|------|
| 理事長校長 | 長谷川信孝 | 学園長 | 鈴木文悟 | 学 監 | 浅井富士雄 | 教 頭 | 尼子理志 |
| 教 頭 | 川合政幸 | 事務長 | 坂野勝彦 | 校長補佐 | 南保真一 | 教頭補佐 | 酒向俊幸 |
| 総務課主任 | 大島律 | 同窓会係 | 上野文也 | | | | |

2. 教職員数

| | | |
|-------|-------|-----|
| 教 職 員 | 非 常 勤 | 合 計 |
| 97 | 43 | 140 |

3. 在籍生徒数

| | | | | |
|-----|-------|-------|-------|------|
| | 1 学 年 | 2 学 年 | 3 学 年 | 全 体 |
| 男 子 | 450 | 389 | 361 | 1200 |
| 女 子 | 198 | 205 | 173 | 576 |
| 計 | 648 | 594 | 534 | 1776 |

4. 校訓

「誠実で信頼される人に」(建学の精神)

5. 基本理念

「教師が変われば生徒が変わる。生徒が変われば学校が変わる」を基にして、生徒一人ひとりを大切に、自己実現が図ることができる教育

6. 目指す学校像

| |
|--|
| 「面倒見の良い学校」 |
| 1. きめ細かく丁寧な教育をする学校 2. 夢と感動のある学校 3. 地域に評価される学校 |

7. 平成26年度卒業生の進路結果(501名卒業)

| | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|--|
| | 卒 業 | 大 学 | 短 大 | 専 門 | 就 職 | そ の 他 | 主な大学名: 中央大学・創価大学・関東学院大学・名城大学・愛知学院大学・愛知淑徳大学・金城学院大学・椋山女学院大学・中部大学・名古屋学院大学・同朋大学・大同大学・東海学園大学・日本福祉大学・名古屋学芸大学・明星大学・静岡理工科大学・北陸大学 他 |
| 普通科 | 141 | 68 | 2 | 37 | 27 | 7 | 主な就職先: トヨタ自動車(株)・日本郵便(株)・アイシン・エイ・ダブリュ(株)・敷島製パン(株)・愛三工業(株)・東明工業(株)・(株)札幌かに本家・第一貨物(株)・(株)全日警・(株)不二屋・名鉄運輸(株)・(株)コベルク・アイシン機工(株)・日鉄住金テックスエッジ(株)・陸上自衛隊・海上保安庁 他 |
| 商業科 | 214 | 20 | 5 | 77 | 112 | 0 | |
| 機械科 | 146 | 7 | 1 | 37 | 101 | 0 | |
| 合 計 | 501 | 95 | 8 | 151 | 240 | 7 | |

※その他…留学・進学浪人

8. 平成26年度部活動・個人の活躍

| | | |
|--------|--------------|--------------------|
| ボクシング部 | 全国高等学校総合体育大会 | ライトフライ級 ベスト16 田中廉人 |
| | 全国高等学校選抜大会 | ライトウェルター級 2回戦 石灘隆哉 |

9. 平成27年度の主な学校行事

| | |
|----|--|
| 月 | 行 事 |
| 4 | 7日 入学式 8日 始業式 9～17日 個人面談指導 11・18日 学級懇談会 14～16日 1年生野外合宿 28～30日 躍進合宿 |
| 5 | 18～21日 中間試験 16日 同窓会総会 23日 土曜セミナー・PTA総会 29日 映画鑑賞会 5月25～6月12日 教育実習 |
| 6 | 1日 創立記念日 2～12日 研究授業週間 6日 街美ボランティア 20日 土曜セミナー |
| 7 | 6月29日～7月3日 期末試験 1日 求人受付開始 8日 球技大会 17日 終業式 21～24日 保護者会 27～30日 特進躍進学習合宿 |
| 8 | 1日 第1回体験入学会 21日 全校出校日 22日 第2回体験入学会 8月29日～9月8日 メディアコース北海道研修・修学旅行 |
| 9 | 1日 始業式 2～11日 個人面談指導 11日 第1回防災訓練 16日 就職試験開始 19日 土曜セミナー 29～30日 文化祭 |
| 10 | 5日 体育祭 15～20日 中間試験 10月21～11月5日 研究授業週間 31日 第1回学校説明会 |
| 11 | 7日 第2回学校説明会 14日 第3回学校説明会 9～14日 修学旅行 17日 演劇鑑賞会 21日 第4回学校説明会・土曜セミナー 28日 第5回学校説明会 11月30～12月4日 期末試験 |
| 12 | 5日 第6回学校説明会 10～13日 躍進コースグアム修学旅行 17～21日 保護者会 22日 終業式 |
| 1 | 7日 始業式 15～21日 卒業試験 16～17日 センター試験 28日 推薦入試 |
| 2 | 3日 一般入試 10日 予餞会 20日 土曜セミナー 24日 卒業式 2月29～3月4日 学年末試験 |
| 3 | 8日 第2回防災訓練 18日 終業式 22日 新入生登校日 |

部活動だより

硬式野球部

【部 長】細川 将功



【監 督】柴垣 旭延



【副部長】彦坂 明人



【コーチ】上野 文也



野地 雄次



安藤 孝将



OBの皆様には、平素よりご支援ご協力を賜り有難うございます。本年度の顧問は、監督・柴垣旭延をはじめ、部長・細川(商業)、副部長・彦坂(体育)、コーチ・上野(社会)・野地(体育)・安藤(商業)として、本年度より外部コーチとして就任しました本校硬式野球部OBでもある小川宗直の七名で、選手をサポートしていく体制になりました。部員は三年生二十八名、二年生二十四名、一年生二十七名の合計六十九名です。

外部コーチの小川は、本校卒業後、社会人野球を経験し、プロ野球チーム西武ライオンズに加入。引退後は、個人で野球教室を開き、小学生から大学生まで幅広く野球指導を行っています。技術指針はもちろん物事の考え方や心構

三年生の思いを背負い、きつと良い結果を出してくれると期待しています。現在チーム内では、激しい競争が繰り広げられています。今後とも応援よろしくお願い致します。

『走姿顕心(そうしけんしん)』

第67回愛知県高等学校野球選手権大会

平成26年9月6日(熱田球場)

名古屋 0 0 0 0 0 0 0 0 1 0

享 栄 0 1 1 2 2 0 1 7

平成26年9月7日(豊田市運動公園野球場)

享 栄 0 0 1 0 0 1 0 0 0 0 2

国 府 0 0 1 1 1 1 0 0 0 4

第65回愛知県高等学校優勝野球大会

平成27年4月12日(熱田球場)

名城大附 1 1 0 0 0 0 0 0 0 0 2

享 栄 0 0 0 0 0 0 0 1 0 0 1

第97回全国高等学校野球選手権 愛知大会

平成27年7月19日(パロ瑞穂球場)

春日丘 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

享 栄 0 1 0 0 0 0 1 0 0 0 2

平成27年7月22日(豊橋市民球場)

愛知黎明 1 1 0 0 0 0 0 0 0 0 2

享 栄 0 1 0 0 0 3 0 0 0 0 4

平成27年7月25日(刈谷球場)

享 栄 3 0 1 1 2 0 1 8

星 城 0 0 0 0 1 0 0 1

平成27年7月26日(豊橋市民球場)

享 栄 0 0 1 0 0 0 0 0 0 0 1

東 邦 2 1 0 2 0 0 1 0 0 6

軟式野球部

【部 長】尾俣 治義



【監 督】松山 直樹



【コーチ】蔭地野由晃



谷出 基貴



高橋 賢



軟式野球部は現在十一名の部員数で活動しております。専用のグラウンドが無い為に毎日マイクロナバスで移動し色々なグラウンドで練習をしております。夏場こそ他の練習時間を持てますが、その時間をグラウンドまでの移動に時間を要し短時間しか練習できないのが実状です。春休みには遠征をして他校との練習試合を組むことにより練習場所の確保と技術の向上を目指しております。

ジブシーの様にグラウンドを転々として本当に大変な思いをしております。指導者として最高の練習内容をしていこうと思っておりますが、何時でも練習できる他校とはハコが大きく試合結果につながっていないのが現実です。今年の全国大会につながる県予選では二回戦敗退、新チームで挑む新人戦は惜しくも予選敗退してしまいました。悔しい想いを私学祭では力に変え準備優勝することが出来ました。



の人間形成」の指導もあり、後者では他校に負けないチーム作りをしていますと自負しております。未熟なチームではありますが、最終の目標は全国大会に出場することであり、その目標に向かって頑張っていきます。どうか同窓会の皆様もよろしくご支援の程お願い申し上げます。

ボクシング部

【顧問】中島 邦晴

岡本 泰典

内山 雄平



インターハイ出場

享栄高校として八年連続インターハイ出場となりました。今年度の県大会では多くの選手が二回戦、一回戦を突破し、準決勝、決勝へと駒を進めました。最終的に全階級で優勝二名、準優勝二名、三位三名という結果を残し、享栄高校にとつては七年ぶりとなる愛知県総合優勝を果たすことができました。しかし、五名の選手が優勝に残ったものの全員の選手が優勝することはできず、優勝インターハイ出場の切符を手にしたのは二年生の石灘隆哉と三年生のキャプテン 沓名藤鷹の二名となりました。

兵庫県で行われた第七十回全国高等学校総合体育大会ボクシング競技では両選手とも、周りには全国的強豪たちにも引けをとらないボクシングを展開しました。インターハイ一日目は石灘がシード、沓名は岐阜の森川選手との対戦でした。森川選手とは本年度の東海大会で負けている相手だったため、沓名にとつてはリベンジマッチでした。同じ相手に連敗はできないと覚悟と作戦を立てリングに臨んだのですが勝利することはできませんでした。しかし、試合内容は前回の対戦よりも良く、一年生のころから全国大会で入賞を重ねる森川選手を苦

しめるシーンもある素晴らしい内容でした。

二日目は前日シードの石灘の出番です。中学時代から全国大会で活躍している石灘ですが相手も強豪で本年度のアジアジュニア選手権二位になった奈良の選手でした。レベルの高い試合が展開され二進一退の攻防が続きました。われわれは石灘の勝利を信じていたのですが、審判は石灘の手を挙げませんでした。

二人にとつて初めてのインターハイということで緊張をするかと思っていたのですが、硬くなりすぎることなく試合に臨むことができました。両選手ともボクシングを頑張りたいと名古屋市内から数時間かけて毎日登校しています。きつい練習にも音をあげることなく、誰よりも声を出してチームを盛り上げる二人でした。そんな二人の努力がインターハイ出場という結果につながったのだと思われたいです。

また、二人のがんばる姿を見たチームメイトも刺激を受け、来年は自分が全国大会に行くんだと日々練習に励んでいるので、これからの成長が期待されます。

現在、二年生八人、一年生六人の計十四人で活動しています。夏休みには福井県福井市で福井県連盟の合宿に参加しました。合宿の中でさまざまな経験を積み、ボクサーとして人として大きく成長することができた合宿になりました。部の雰囲気も大変良く、今は一年生は先輩に追いつこうと、二年生は同期・後輩に負けられないようにと全国大会出場を目指して練習に励んでいます。それぞれ、怪我をすることなく悔いのない練習をして大会に臨んで欲しいと思います。今後ともご声援よろしくお祈りします。



ソフトテニス部 (男子・女子)

【顧問】中川 孝浩

鈴木 直也

近藤 主税



ソフトテニス部は現在、男子四十一名(二年生十九名、三年生十五名、三年生七名)、女子七人(二年生三名、二年生二名、三年生二名)の総勢四十八名で活動しています。今年も一年生が多数入部し、人数が増えた中で全員丸となり切磋琢磨しながら毎日の練習に取り組んでいます。

今年度は男子は愛知県総合体育大会で団体ベスト8、原・浅生ペアが個人ベスト16と健闘しました。さらに、国民体育大会の名南予選大会では男子が優勝二名、三位四位と上位を独占、女子も県大会出場し男女共に頑張っています。

新チームになってからも、名南支部の学年別大会で男子二年生の部で藤原・近藤ペアが優勝という成績を残しました。夏休みには合宿、遠征、練習試合などを行いました。その中で全国大会に出場するような学校や選手と試合をする機会もあり、技術だけでなく練習の取り組み方や考え方について様々な良い刺激を受けました。

今後とも日々の練習を通して仲間との存在の大切さ、努力することの大切さを学び、多くの人によって支えてもらいテニスができるということに感謝し、層練習に取り組んでいきたいと思っています。テニスの技術だけでなく、人として大きく成長できるように、今後とも頑張っていきますのでよろしくお祈りします。



陸 上 部

【顧問】杉山 貴史



尼子 理志



本年度、陸上競技部は三つの目標を掲げ活動をしています。

- 一、陸上競技を通しての人間の成長
- 二、県大会、東海大会出場を果たすためのトレーニングに励む
- 三、各種目における自己記録、チーム記録の更新を達成する。

昨年度よりも部員数が増え、それぞれの目標に向かって活発に活動することが出来てきました。また、1日予選、新人戦のみならず、各記録会に出場し、自己記録の更新を達成する事が出来ました。大会を通して、競技に対する意識や、次の大会に向けての目標を定め、日々の練習をより質の高いものにする事が出来つつあります。八月には、新潟県にて夏合宿を行い、競技力のみならず、チームでのコミュニケーションを密にすることが出来ました。

陸上競技は個人競技ではありますが、リレー、駅伝など学校対抗の種類もあります。本年度から、毎年行われる愛知県高等学校校駅伝競争大会に向けても取り組んでいます。チームとしては未熟な点が多々ありますが、少しずつ、陸上部として前進しつつあります。個人として、チームとしての意識を高め、今後もしっかり取り組みたいと思います。



バレーボール部(男子)

【顧問】小澤 大輔



神谷 修平



高柳 裕



今年度男子バレーボール部は、三年生二名、二年生七名に加え、二年生十名とマネージャー二名の計二十名で日々練習に励んでいます。二年生は一年生の手本となるように、一年生は二年生を追い抜く気持ちでお互いに刺激し合って成長しています。

大会の実績においては、総体や私学祭と全ての大会に参加してきましたが、残念ながら結果を残すことができませんでした。大会毎に課題が生まれ、中々安定したチームになりませんでした。しかし、この夏休み中、一つ一つ少しずつですが課題を克服しつつあり、秋の大会までにはある程度形にすることができそうです。

昨年よりも人数も増え、一人当たりのボールを触る時間も減り、練習の時間を大切にするようにになりました。一人一人のモチベーションも上がってきています。今年度はあと三回大会があります。今年度はまず秋の大会で実績を残せるよう頑張っていきますので応援の方よろしくお願致します。



バレーボール部(女子)

【顧問】小澤 大輔



鈴木 健悟



女子バレーボール部は、二年生四人と一年生を新たに五人加え、九人で活動をしています。練習は体育館を男子バレー部と分け合い、授業後毎日行っています。練習内容は、基礎的な練習をはじめ、実践的な練習も行っています。昨年と大きく違うのは、試合ができるようになったことです。今までは練習をひたすら行い、努力を試す場がなかった事に対し、今年には練習試合を行う事ができ、選手にとっても良い経験を積むことができています。また、昨年からの大きな一つの目標であった「大会出場」も果たすことができました。初めて出場した大会では、感じた事のない緊張感の中、精一杯のプレーをする選手の姿が印象的でした。結果は敗戦でしたが、多くの事を学ぶ事ができた大会でした。

大会出場を果たした今の目標は「試合で勝利」することです。大会を経験し、勝利することの難しさを知り、課題も多く見つかりました。選手のバレーボールに対する姿勢も自発的で意欲的なものになりました。今後とも、選手・顧問共に、勝利へ向けて努力を続けていきます。



山海堂調剤薬局

〒460-0011 名古屋市中区大須二丁目29-43

TEL 052-204-8577 [FAXでも調剤を承ります!]
FAX 050-3730-2456

バスケットボール部(男子)

【顧問】豊永 真美

前川 進也



男子バスケットボール部は、三年生五人、二年生十二人、一年生二十人の合計三十七人で新チームとして活動しています。

一学期では、上級生を中心に声を体育館中に響き渡らせながら、密度の濃い練習を日々重ねています。また七月には郡上へ出向き、七月下旬にある夏期名南選手権に向け、バスケット漬けになる二日間を過ごしました。また、八月には東海学園高校と合同合宿を相手校で行い、切磋琢磨しながら、三日間の厳しい練習を乗り越えることができました。これら二つの合宿を通じて、プレー面だけでなく、精神面での成長も感じられました。

夏にあった私学際や夏季名南選手権では、結果を残すことができずでしたが、冬にある選抜優勝大会や新人戦では昨年の結果を上回るように日々努力して、結果を残していきたいと思えます。

これからもバスケットボールを通して、スポーツの厳しさや達成感を体験させ生徒の人生において、良い影響を与えられるように指導をしていきますので、応援の方よろしく願います。



バスケットボール部(女子)

【顧問】清水 大介

矢野 好明



私たち女子バスケットボール部は一年生五人、二年生四人、三年生二人の七人で活動しています。練習は主に、基礎練習を中心とした個人の技術の向上、ゲームを中心としたセットプレーなどを行っています。

部活は主に毎日あり、木曜日は筋トレ、土曜日、日曜日のどちらかに練習試合がはいることがあります。また、大会に向けて今は気持ちの部分や体力面を重視した練習をしており、チーム一丸となつてがんばっています。

人数が少ない中での練習は思うように声が出せなかつたり、人数が足りず、やれることが限られてきてしまし大変な時もありますが、個人の意識や自覚、役割、責任感をしつかりもち、試合でも多く勝利し、勝つ喜びをみんなまで分かち合える絆の深いチームになつていきたいです。

サッカー部

【顧問】永田 伸輔

井口 琢麻

服部 慎司



サッカー部は毎年部員数も増え七十五名を超える部員で活動を

しています。顧問もサッカー経験者三名で指導をして結果を求めて日々トレーニングに明け暮れています。夏には高校サッカー選手権大会に向け二回の合宿を行います。一回はAチームを選抜し高地トレーニングに行きます。ボールを使った戦術練習に含め持久力を高めるための走りこみを行います。もう一回は部員全員で行きチームを更なる団結をさせ夏の戦いに望みます。

今年度は年間を通して行われるリーグ戦も前半戦を三位で折り返し上位リーグへの昇格圏内にいます。選手はタイトル奪取のために全力でトレーニングに臨んでいます。平日は太白学校体育センターや人工芝のラグビー練習場で練習を行い、土日にはAチームBチームに分かれ各カテゴリー練習試合を行います。Aチームでは県内外問わず遠征に出向き強化をしています。

また、学校行事ではキッズサッカー教室を開講し、地域の子どもとサッカーを通して交流もしています。ただ交流するのではなく、クオリティーの高いサッカー教室を追求してトレーニングメニューもしっかりと構築しています。それに従い、部員全員が日本サッカー協会公認キッズ指導者の資格も取得します。



また、情報発信にもこだわり、本校サッカー部独自のホームページを使い活動を広めています。
<http://www.team-kyoeiclub/>

大会結果

| | |
|----------|--------|
| 名古屋地区リーグ | |
| VS 山田 | 4-0 勝ち |
| VS 中村 | 0-0 分け |
| VS 名古屋西 | 3-0 勝ち |
| VS 愛知FCB | 0-1 負け |
| VS 高蔵C | 0-1 負け |
| VS 惟信 | 7-3 勝ち |
| VS 名古屋南 | 2-0 勝ち |
| VS 菊華 | 4-0 勝ち |
| VS 名南工業 | 2-1 勝ち |
| 9月1日現在 | |
| 上位リーグ昇格 | |

支部大会

| | |
|-----------|--------|
| VS 向陽高校 | 1-1 |
| VS 名古屋市工業 | 5-3 勝ち |
| PK | 0-1 負け |

選手権大会

VS 鳴海高校 2-3 負け



柔 道 部

【顧問】佐々木康治

金田 進作



柔道部は今年度、新たに二年生男子が五名、女子一名が加わり、合計十四名で毎週月曜日から金曜日までの週五日間、一日三時間程度活動しています。

部活動報告といましては、四月に行われた県大会予選の団体戦において悲願の初勝利を飾ることができました。また八月に行われた名南学年別錬成大会におきまして、女子の部で優勝、二年生有段の部七十五kg級で第三位となりました。少しづつではありますが、大会において結果を残すことが出来るようになりまし。

私が柔道部の指導者として掲げる目標は、柔道の厳しい稽古を通して生徒の人間教育を行うことです。厳しい稽古を乗り越えることにより、苦しいことに立ち向かう強い精神力、忍耐力を身に付け、日本及び国際社会において活躍できる優秀な生徒を育て上げたいと考えております。

部員が三学年合わせて十四名となり、柔道場は毎日活気に溢れています。部員同士大変仲が良く、お互い励まし合いながら、楽しく柔道に取り組んでいます。また部員全員が真面目に練習に取り組み、自ら積極的にトレーニングや技の研究を行っており、日々成長を感じることが出来ます。今後の活躍がますます期待できる生徒ばかりです。

柔道部は三年間最後まで部活動を続けること、有段者の証である黒帯取得することを目標に掲げています。またそれと共に、県大会出場、憧れのインターハイ、東海大会出場を大きな目標として一生懸命指導に取り組んでいきたいと思ひます。



ハンドボール部

【顧問】鈴木 準平

本多 洋平

岩永 雅靖



私たちハンドボール部は、今年度新一年生が七名加わり、二年生八名と合わせて十五名の部員で毎週月曜日から金曜までの五日間、二日三時間程度で活動しています。また、休日には他校との練習試合を積極的にを行い、個々の技術やチームの連携を高めています。

ハンドボールという競技は、キーパーを含め七人で、試合は二十五分ハーフで行われます。コートはバスケットコートよりも大きいサイズで行われています。ルールは、バスケットボールのドリブルやパスの



様にボールを回し、フットサルと同様のゴールに投げ入れる。醍醐味は何といつてもシュートシーンとスピッド感溢れる試合展開です。激しく体をぶつけ合い、ディフェンスをかき分け、ゴールを狙う。エキサイティングなプレーは一度見たら必ず虜になるはず。今年度はチーム力や個々の技術力が向上し、各大会で二回戦突破をすることができるようになりました。ほとんどの部員が高校に入学してからハンドボールを始めた生徒ばかりです。各自が高い意識を持って日々の練習に励んでいるので、今後も今以上の成績を残せるよう、チームとして個人としてさらに向上できるように、日々練習に励んでいます。限られた時間、練習環境で各自が質の高い練習をすることが大切です。まだまだこれからのチームです。共に汗を流し、互いがライバルとして日々の練習に励み、県大会出場を目標に頑張っていきたいと思ひます。

卓 球 部

【顧問】水野 敏伸

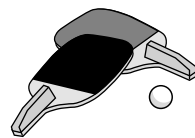
大島 律



卓球部は、現在男女三十名で活動しています。日々の練習では、試合で二つでも多く勝てる実力を身につけるといいうことを目標としています。

今年の卓球部は二年生が多数入り、限られた数の卓球台で練習メニューを工夫しながら、取り組んでいます。高校に入学してから卓球を始めた生徒もいますが、経験

者がアドバンスをすることで卓球の技術向上に努めています。授業終了後の練習では、フォア、バック、サーブ、三球目などの基本を中心に行つた後、実践形式の試合を行ないます。試合でそれぞれが二回でも多く勝つ」という目標に向けて努力しています。



チアリーディング部

【顧問】吉田美貴子

松尾 崇広



秒の最後まで、持ち前のチームワークと極限の集中力を継続させていました。一〇パーセントの演技を成し遂げようとする懸命な生徒の姿は、観ている人に感動を与えたと思います。

今年度より、新入部員六人を迎えて、再始動しました。今年度の目標は全国大会出場です。競技会においての採点基準は、元気さ、笑顔、技の正確性、完成度、難易度、連続性、スピード感・同調性など採点項目は細則に渡り、競技は定められたルールに沿って競われます。

吹奏楽部

【顧問】山林 唯

吉安由美子



Challenge Competition 2015 West大会が八月に行われました。新チームになり、初めて大会に参加しました。チアリーディングという競技は、観ている人に元気・勇気・笑顔を届けるために、チアリーダー達がチームワークを大切に、パワフルでスピード感あふれる「技」の数々を展開する表現スポーツであることを伝えながら、練習しました。生徒は教えられたことを自分たちなりに考え、話し合い、試行錯誤しながら練習に取り組んでいました。大会本番はとても緊張していましたが、競技時間二分三〇

今年度の吹奏楽部は、昨年度三月に二名の卒業(引退)部員を送りだし新年度が始まりました。吹奏楽部の活動には各学年十五名以上(顧問の理想は各学年十五名以上)の部員が居ることが望ましいと考えており、昨年度に引き続き今年度も人数的にはとても厳しいはじまりでした。

このような状況の中で、新入部員獲得のために二三年生で勧誘を行い、新入部員を迎えて総勢二十五名の新体制がはじまりました。

毎年初心者の入部が多いのですが、今年も数名の経験者を除いては、初



者や、新たなパート(楽器)にチャレンジする年生が大半でした。五月十六日に同窓会総会懇親会前に演奏させていただきました。毎年演奏の機会を与えていただきとても感謝しています。五月二十三日には、PTA総会前のクラブ発表で新メンバーでの初の本番に臨みました。夏のコンクールは「今年こそは！」と意気込み頑張りでしたが、僅差で悔しい結果となりました。また今年度は初めてコンクールの後に夏合宿を行いました。仲間の絆を深めるとてもよい合宿ができたと思っています。

二学期以降も、九月の享栄祭での演奏を始め、「名古屋シティハンデイマラソン」「栄街じゅう音楽広場」「吹奏楽フェスティバル」など多くの演奏の機会に恵まれています。

三学期は二月三十日(日)に新しく瑞穂区にできた瑞穂文化小



劇場にて「第二十三回定期演奏会」を予定しています。引き続きコツコツと努力してまいりますので今後とも暖かいご声援をよろしくお願い申し上げます。

写真部

【顧問】伊藤 哲夫



今年度は二年生が四名入部しましたが現在は二名となり、全員で九名になり、昨年度と同数なのでやや寂しい思いです。しかし、部活動は、定例部活として週二回、それ以外には各自が自由撮影を行うなど活発に活動しています。

今年度の活動の特徴は、定着した「夏の合宿(私学展)」、「愛知県私学美術展(私学展)」に出品を目指しています。

今年度の合宿は、飛騨の高山古川の(古い町並み)と長野県の安曇野(道祖神など)に行き、丸二日間撮影しました。

活動内容は例年と同様で、①写真部としての撮影会、②土曜セミナー撮影、③街美ボランティア撮影、④部員各自が個性豊かな作品を撮影、という四部門に於いて本校の文化祭で作品展を実施しました。

さらに私学展に出品した作品を、学校内で展示したいと考えています。

理科部

【顧問】佐川 貴之

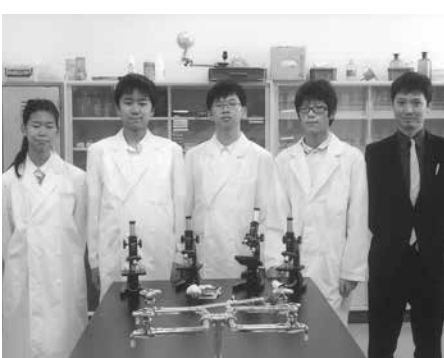
近藤 義高



理科部は現在五名の部員で活動しています。昨年度の後半は生物分野の実習を中心に活動してきましたが、今年度は化学や生物分野の実験を多くしています。具体的には硫酸を用いた同素体をつくる実験やスーパーボールや人工イクラの製造などの実験や万華鏡や自動書記機などの製作・研究などをしてきました。

理科部とはいえ、理系の生徒は一人だけで必ずしも理科の知識が豊富な訳ではありません。しかし、二年生の部長を中心に、自ら考え、会議を行い、意欲的に活動を行っています。活動を通じて少しずつ知識や技術も向上してきています。

「気軽にかつ安全に理科の面白さを学ぶ」をもっとうに理科部は少人数ならではのチームワークの良さを活かして今後も活動していきます。



ワープロ部

【顧問】宮下 宏明

稲熊 誠



今年度のワープロ部は、新たに二年生十一名が加わり、三年生二名の合計十三名の部員で活動をしています。

主にビジネス文書実務検定試験や、文書デザイン検定試験の合格を目指しています。一年生では、コンピュータの基本的な操作に慣れるため、タイピングの練習をしています。制限時間内により多くの文字を入力しなければいけないので、集中しミスがないようにする事に心がけています。三年生では、進路に向けて上級合格ができるように練習をしています。

また、検定資格取得以外でも、コンピュータを使いこなせるようにいろいろな機能を使って楽しく活動をしています。



茶華道部

【顧問】栗田美穂子

阿部真寿美

香田 孝

直江知恵美



茶華道部は、男子二名女子十四名の十六名で活動しています。ここ数年、男子も積極的に入門してくるようになりました。

本年度より学校の事情により、流派が変わり師範も変わりましたが、二三年生は戸惑いを感じながらも熱心にお稽古に励んでいます。



美術部

【顧問】今枝 悦子

榊原 亜紀

市村 佳子



まず。流派が変わっても茶の湯の基本となっている「和敬清寂」の教えは、現代に忘れがちな他者を思いやる心や理解する心を呼びおこします。部員達も人と人の交わりを深め表現ができることの素晴らしさを実感しています。日々のお稽古や文化祭・土曜セミナーを通して、ひとり一人が茶の湯の心得を感じ取り、豊かな人生を歩んでいってほしいと願っています。

美術部は、毎週水・木金の三日間、活動しています。その他の日は進学補習に参加したり、上級の検定試験に挑戦したりと、目標に向かって有効に時間を使い、頑張っている生徒が多いのが特徴です。美術室はないため、教室の限られた条件の中で絵画を基本とし木・粘土・簾・その他様々な素材で工夫して創作活動に取り組んでいます。

今年度は文化祭全校企画の、巨大ちぎり絵アートの原画を美術部員が担当しました。七メートルありの作品が完成する予定なので、期待しています。

卒業生たちはみな、在学中には勉強にもこつこつと取り組み、良い成績を残してきました。美術系の大学や専門学校、一般企業など、進路は様々ですが時々嬉しい知らせを聞かせてくれます。地域の祭りのパンフレットのデザインコンペに入賞し採用されたこと、本校の土曜セミナーや、各地でのセミナーの講師として一般の市民や中学生に人気の講座を開講していることなど、卒業生の活躍を知ることが本当に嬉しいものです。ぜひ近況を知らせに立ち寄ってください。楽しみにしています。



漫画研究部

【顧問】山本 和夫

宮本 章令



今年も力を入れて臨んだ「第二十五回全国高等学校漫画選手権大会(まんが甲子園)」の予選でしたが、通らず、本戦への出場はできませんでした。六月の第三土曜日に審査員さんが名古屋を訪れることがわかりましたので、そこに部員を連れて行き、講評をうかがいました。そこで第2次審査は通ったことがわかり、今後の出品作品作成に向けて、いろいろアドバイスをいただきました。

また、昨年度から東京の専門学校「タリエイティブ甲子園」にも参加しており、第十一回(第十三回と三回続けて)学校賞をいただき、第十二回は個人賞の郵便局長賞を受賞しました。

今後も部活動の中で、色々なコンテストに応募したり、お互いの作品の講評を通じてレベルアップを図り、再度の「まんが甲子園」出場に向けて努力をしていきたいと思えます。



目標を持ち、「享栄高校アーチェリー部」として認められるようチーム丸となって頑張っていきたいと考えています。今後とも応援を宜しくお願い致します。



合唱同好会

【顧問】吉田 衣里

増田 友加

田畑 伸晃

上田 達也



合唱同好会は二年生十一名、二年生九名、三年生一名の二十二名が所属し、共に合唱を楽しんでいます。週に一度、月曜日に集まり、活動をしています。文化祭や予餞会などの学校行事に参加し、日ごろの練習の成果を披露しています。

昨年度と比べ人数が増えたため、パート練習を充実させ、丁寧に歌うことを心がけています。また、合唱を経験したことがある生徒やピアノが得意な生徒が増えたため、生徒たちが自発的に練習をすることができるようになりました。合唱経験者の後輩たちに負けまいと先輩たちも熱心に取り組んでおり、練習は昨年度よりも活気があります。

現在練習しているのは第七十九回NHK全国学校合唱コンクールで課題曲となっていた、YUIの『flight』という曲です。パートごとに歌い始めるタイミングが異なるので、全体をそろえるのが難しいです。発表に間に合うのだろうかと不安そうにしていることもありませんが、『flight』の「頑張れ頑張れ」という歌詞に励まされながら練習に取り組んでいます。

合唱同好会の大きな目標は、ポランテアやコンクールなど、学校の外で合唱を発表することです。合唱の上手さでは、まだまだ伸びしろのある生徒たちですが、歌うことの楽しさにはよく知っています。歌うことの楽しさを合唱同好会のメンバーと共有し合うだけでなく、発信していけるような同好会へと成長していきたいです。それができるようになるために、日々の練習にも「層力」を入れていきます。

情報処理同好会

【顧問】大矢 貴子

近藤真紀子

安田 忠義



情報処理同好会は一年生が二名、二年生が四名、三年生が三名の合計九名が活動しています。情報処理検定の部門のうち、表計算(エクセル)検定の合格を目指して学習しています。

また、表計算以外にも、タイピング練習やワードなど、自分のスキルを上げるための練習なら自由に取

り組んで良いことにしています。今年も、生徒達は自主的に部活に参加し、前向きに努力しています。上級合格を目指して頑張っています。欲しいと思っています。

情報技術同好会

【顧問】片山 一成

松本 亮

山田 篤志

佐伯 樹弘



情報技術同好会は、もともと機械実習部として発足し、金属加工を中心とした物作りの活動をしておりました。二十五年程前、東海地区アイデアロボット競技大会出場を契機に総合的な活動を目指し、情報技術部へと部名を変更しました。当時、競技大会に向けて連日遅くまで活動し、競技大会前日には保護者の方から夜食の差し入れをして頂き、大変ありがたかった思い出もあります。競技大会の成績は振るいませんでしたが、「与えられた課題を工夫と技術で乗り越えていく」という情報技術部の原点が育まれた時期でもありました。その後、部員数の減少とともに部から同好会へ降格されるなど低迷期が続きました。

さて、現在の情報技術同好会は、四名の顧問体制となり、若い先生たちがものすごいパワーで活動を引っ張っています。また、活動のフィールドも広がり、新しい競技大会にもチャレンジするようになりま

した。また、部員も三年の赤波江君を部長に据え、個性豊かで個々がこだわりのある集団となつています。普段の活動は物作りには必要な旋盤や溶接の練習をしています。大会が近くなると喧々譁々の話し合いのもと設計図を完成させて試作とテスト繰り返します。今年度は、「堀川エゴロボットコンテスト」で堀川ライオンズクラブ会長賞、「ソーラー&人力ボート全日本選手権大会」でBTT部門三位を受賞しました。

一時、廃部の危機もありましたが、完全復活し、機械実習部から続く伝統を今も繋いでいます。



簿記同好会

【顧問】兼山 彰宏

今井 悠斗



簿記同好会は、現在、三年生三名、二年生一名、一年生一名、計五名で活動を行っています。

昨年の五倍の人数になつたものの、少ない部員数で地道に活動し、日商簿記検定(全商簿記検定、全経簿記検定の合格を目指して勉強しています。授業の先取り学習や上位の検定試験にも段階的に挑戦できるので、達成感を味わいながら、目標に向かって前向きに努力しています。

今年度は商業科の授業が始まる前の一年生、始まったばかりの二年生も二学期中に行われた検定試験に合格し、三年生もより難易度の高い、全商簿記検定に合格するなど順調に学習を進めております。

商業科や担任の先生方にも「簿記に興味のある生徒や就職・進学に役立つ資格を取得したいと考えている生徒は、是非、簿記同好会へ」と呼びかけていますが、生徒には地味という印象があるのか、なかなか入部に至っておりません。

今後とも目標に向かつて日々の学習を重ね、進路実現につなげる部員、本校における簿記学習を牽引していく生徒が増えたいと思います。



平成26年度 享栄同窓会事業報告書

自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日

| 月 日 | 摘 要 | 月 日 | 摘 要 |
|--------|-----------------------|-------|--------------------------|
| 4月 7日 | 享栄高等学校 入学式636名(本校体育館) | 1月30日 | 享栄会報 2,000部発刊 31部発送 |
| 4月26日 | 会計監査 | 2月23日 | 享栄高等学校 卒業式予行練習 |
| 4月26日 | 役員・常任幹事会(ローズコートホテル) | | 細江会長より同窓会入会と奨学金について説明 |
| 6月15日 | 総会・懇親会(東急ホテル) | 2月25日 | 享栄高等学校 卒業式 501名(名古屋市公会堂) |
| 7月22日 | 享栄会報41号原稿依頼 | | 同窓会長賞贈呈 普通科 渡部 友貴 |
| 12月 9日 | 役員会 享栄会報ゲラ刷り読み合わせ | | 機械科 中島 大輔 |
| | | | 太田 悠介 |

平成26年度 享栄同窓会決算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

基本金の部

収入の部

| 科 目 | 金 額 | 摘 要 |
|---------|------------|-------------------------|
| 入 会 金 | 1,002,000 | 卒業生501名×2,000=1,002,000 |
| 受 取 利 息 | 7,903 | |
| 前年度繰越金 | 9,444,620 | 平成25年度から |
| 合 計 | 10,454,523 | |

支出の部

単位:円

| 科 目 | 金 額 | 摘 要 |
|--------|------------|---------|
| 次年度繰越金 | 10,454,523 | 平成27年度へ |
| 合 計 | 10,454,523 | |

一般会計の部

収入の部

| 科 目 | 金 額 | 摘 要 |
|---------|------------|-------------------------|
| 会 費 | 4,008,000 | 卒業生501名×8,000=4,008,000 |
| 協 賛 金 | 60,000 | 同窓会報広告掲載費 |
| 受 取 利 息 | 12,829 | |
| 総会参加費 | 166,000 | |
| 前年度繰越金 | 16,936,238 | 平成25年度から |
| 合 計 | 21,183,067 | |

支出の部

単位:円

| 科 目 | 金 額 | 摘 要 |
|-----------|------------|------------------|
| 記 念 品 費 | 112,320 | 総会・優良卒業生記念品購入費 |
| 会 合 費 | 137,556 | 役員会及び幹事会等 |
| 慶 弔 費 | 43,000 | 卒業式祝花 |
| 消 耗 品 費 | 0 | |
| 手 数 料 | 400,349 | 振込手数料・データ変換費用等 |
| 印 刷 費 | 108,000 | 幹事会案内状・会報等印刷費 |
| 通 信 費 | 34,372 | 幹事会・役員会案内状・会報等送料 |
| 旅 行 交 通 費 | 2,380 | |
| 協 賛 費 | 24,400 | 享栄祭・同期会等協賛費 |
| 総 会 費 | 778,313 | |
| 奨 学 費 | 600,000 | 6名×100,000 |
| 次年度繰越金 | 18,942,377 | 平成27年度へ |
| 合 計 | 21,183,067 | |

| 基本金会計繰越内訳 | | |
|-----------------------|--|------------|
| 三菱東京UFJ銀行鶴舞支店 普597241 | | 6,231,085 |
| ゆうちょ銀行 定期貯金 | | 4,223,438 |
| 合計 | | 10,454,523 |

| 一般会計繰越内訳 | | |
|-------------------------|--|------------|
| 三菱東京UFJ銀行鶴舞支店 普594305 | | 11,323,624 |
| 三菱東京UFJ銀行鶴舞支店 定期1184858 | | 4,205,158 |
| ゆうちょ銀行 0085-5-57903 | | 198,500 |
| ゆうちょ銀行 定額 | | 3,013,181 |
| 現金 | | 201,914 |
| 合計 | | 18,942,377 |

平成26年4月1日から平成27年3月31日までの享栄同窓会の決算を監査しましたところ、諸帳簿・証憑書類の事実と相違ないことを認めます。

平成27年4月25日

監査者 本多 清治

神谷 新恵



平成27年度 享栄同窓会事業計画

自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日

| 月 日 | 摘 要 | 月 日 | 摘 要 |
|-------|--------------------------------|-------|---|
| 4月 7日 | 享栄高等学校 入学式 648名(本校体育館) | 11月上旬 | 役員会 享栄会報グラフ読み合わせ |
| 4月25日 | 会計監査 (享栄高等学校に於いて 平成26年度決算書) | 11月下旬 | 享栄会報42号発送 2,000部発刊予定 |
| 4月25日 | 役員・常任幹事会(享栄高等学校 視聴覚室) | 2月中旬 | 役員会 |
| 5月16日 | 総会(ローズコートホテル 17時) | 2月23日 | 享栄高等学校 卒業式予行練習 細江会長より同窓会入会と奨学金について説明 |
| 7月18日 | 享栄会報42号 原稿依頼 | 2月24日 | 享栄高等学校 卒業式(名古屋市公会堂) |

主な
事業内容

- (1) 総会実施に関する事項
- (2) 享栄同窓会報発刊に関する事項
- (3) 成績優秀な卒業生に対して記念品贈呈に関する事項
- (4) 慶弔に関する事項
- (5) その他必要に関する事項

平成27年度 享栄同窓会予算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

基本金の部
収入の部

| 科 目 | 金 額 | 摘 要 |
|---------|------------|-------------------------|
| 入 会 金 | 1,068,000 | 卒業生534名×2,000=1,068,000 |
| 受 取 利 息 | 8,000 | 受取利息 |
| 前年度繰越金 | 10,454,523 | 平成26年度から |
| 合 計 | 11,530,523 | |

支出の部

単位:円

| 科 目 | 金 額 | 摘 要 |
|--------|------------|---------|
| 次年度繰越金 | 11,530,523 | 平成28年度へ |
| 合 計 | 11,530,523 | |

一般会計の部
収入の部

| 科 目 | 金 額 | 摘 要 |
|---------|------------|-------------------------|
| 会 費 | 4,272,000 | 卒業生534名×8,000=4,272,000 |
| 協 賛 金 | 100,000 | 同窓会報広告掲載費 |
| 受 取 利 息 | 3,000 | |
| 総会参加会費 | 300,000 | |
| 前年度繰越金 | 18,942,377 | 平成26年度から |
| 合 計 | 23,617,377 | |

支出の部

単位:円

| 科 目 | 金 額 | 摘 要 |
|-----------|------------|----------------|
| 記 念 品 費 | 250,000 | 総会及び優良卒業生記念品購入 |
| 会 合 費 | 500,000 | 役員会及び幹事会 |
| 慶 弔 費 | 100,000 | 香典、生花、御祝金等 |
| 消 耗 品 費 | 100,000 | 事務用消耗品費等 |
| 手 数 料 | 500,000 | 振込手数料、発送諸費用 |
| 印 刷 費 | 480,000 | 会報・役員会案内状等印刷費 |
| 通 信 費 | 200,000 | 会報・役員会案内状会報等送料 |
| 旅 費 交 通 費 | 30,000 | 旅費 |
| 協 賛 費 | 30,000 | 文化祭・同期会協賛費 |
| 総 会 費 | 1,200,000 | 5月開催 |
| 奨 学 金 | 600,000 | 6名×100,000 |
| 次年度繰越金 | 19,627,377 | 平成28年度へ |
| 合 計 | 23,617,377 | |





■全校企画デザイン
2年6組 森田 奈美希(美術部) 1年8組 早川 巧真(生徒会実行委員)

今年の文化祭は、第二次世界大戦終戦からちょうど70年ということを始め、あらゆる面で戦後70年を意識しています。全校企画の絵はこのテーマに沿って作画しており、まず、1980年11月11日の『折り紙の日』『世界平和記念日』にあやかり、折り紙で平和を願う思いと戦争への思いを込めてモザイクアートを作成する案を考えました。

絵の中の原爆ドームと平和の像は、それぞれ原子爆弾の投下された広島と長崎の象徴的なものです。左上と右下の花は、テンニンギクで別名『特攻花』と呼ばれており、大戦中に海軍が沖縄へと特攻出撃する際、出撃する特攻隊員にテンニンギクの花束を渡したことが由来となっているそうです。青い鳥は、幸福の鳥、緑色の玉は死者の魂を表しています。また緑色に平和や成長といった意味も込めました。

よってこの絵は、痛切な戦争の過去とこれからの平和を表現したものです。

2015 文化祭 全校企画 『命』 つないでいく平和 戦後70年



瑞宝単光章

長瀬

英雄(73)

元古屋市城北消防団長。
消防功労。名古屋北区安井

同窓会事務局からのお知らせ

平成13年9月から享栄高等学校のホームページが開設された事はすでにご報告済みです。その中に享栄同窓会のホームページも開かれており、何時でも同窓会の情報に接する事が出来ます。また、享栄高等学校100周年記念冊子が事務局にあります。ご希望の方は事務局までお問い合わせください。数に限りがございますので、ご希望の方はお早めにご連絡ください。

ホームページアドレス

<http://www.kyoei-h.ed.jp>

平成10年から享栄同窓会終身会員制度が設けられました。会則によって会費納入が一万円になった方は、終身会員に登録され、以後の会費納入が不要となりました。又平成10年以降の卒業生の方は、全員卒業時に終身会員として、一万円納入頂いております。

編集後記

第42号も皆様のご協力により発刊することができました。なお、享栄会報はホームページからも閲覧できます。ぜひ、お友達にもお知らせください。ご多忙中にも関わらず寄稿していただいた方には厚く御礼申し上げます。今後とも同窓会へのご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

突然の訃報ではありませんが、長年同窓会の事務局長としてご尽力頂いた横井信二様、副会長 名倉誠司様のご逝去されました。ここに哀悼の意とともに、ご冥福をお祈りいたします。

(同窓会事務局)

平成27年度 享栄同窓会役員名簿

| 役 職 | 氏 名 | 卒 業 年 度 |
|----------|------------|----------|
| 名 誉 会 長 | 長谷川 信孝 | 理 事 長 |
| 相 談 役 | 塩田 郁夫 | 昭 和 17 年 |
| 会 長 | 細江 利夫 | 昭 和 40 年 |
| 副 会 長 | 岩月 宏之 | 昭 和 36 年 |
| 〃 | 長谷川 翠(みどり) | 昭 和 40 年 |
| 〃 | 西脇 いずみ | 昭 和 42 年 |
| 〃 | 山中 庄吾 | 昭 和 47 年 |
| 〃 | 兼本 尚浩 | 昭 和 50 年 |
| 〃 | 名倉 誠司 | 昭 和 56 年 |
| 〃 | 植木 広次 | 昭 和 59 年 |
| 〃 | 畑中 清詞 | 昭 和 60 年 |
| 〃 | 遠藤 隆一郎 | 平 成 2 年 |
| 〃 | 大林 順子 | 平 成 5 年 |
| 監 事 | 本多 清治 | 昭 和 35 年 |
| 〃 | 神谷 新恵 | 昭 和 35 年 |
| 事 務 局 長 | 尾前 敏雄 | 昭 和 44 年 |
| 会 計(事務長) | 坂野 勝彦 | |